

令和6年度 第1回しが子ども読書活動推進協議会 議事概要

日 時：令和6年8月22日（木）10：00～12：00

会 場：滋賀県庁新館4階 教育委員会室

出席者：小野田委員（会長）、鹿取委員、草間委員、橘委員、二井委員、
野口委員、堀出委員、臼井委員（代理：松島主査）、
畑委員（代理：下村指導主事）、左谷委員（代理：小林指導主事）、濱委員
村田委員、「こども としょかん」サポートセンター 寺本所長

事務局：生涯学習課 小山総括補佐、上井主幹、浦谷主査、堀川主任主事、
若杉読書バリアフリーコーディネータ

（※傍聴：なし、取材：京都新聞）

1 開会

生涯学習課長挨拶

- ・本協議会は、子どもの読書活動の推進を目的とし、関係機関の連携協力や広報啓発等について意見交換を行う場として設定。
- ・全ての子どもがいつでもどこでも楽しく読書ができる環境づくりに励む。
- ・学校、地域、家庭、公共図書館そして行政が連携を密にすることが肝要と考えるため、皆様からの意見や視点を大切にしていきたい。

事務局より

- ・設置要綱の確認 第2～4、6条読み上げ
- ・今年度は2回開催予定
- ・関係課7名の委員

会長選出

小野田委員を推す声があり、小野田委員を選出。

自己紹介

小野田会長挨拶

- ・「本屋大賞」の盛り上がりとともに、本日の話し合いが、滋賀の子どもたちの読書活動の盛り上がりにつながることを期待する。

2 議題

○会長より

- ・本日の議題を説明

（1）令和5年度子ども読書活動推進事業の実績報告について

○事務局より説明 資料1 参照

- ・就学前からの読書習慣の形成

乳幼児・保護者向け子ども読書啓発冊子「えほんいっぱい たのしさいっぱい」は、今年度については引き続き配付予定だが、来年度からは紙の冊子の配付はせず、学習情報提供システム「におねっと」内の「子ども読書活動支援センター」に掲載しているPDF版をご覧ください。くよう案内する予定。

- ・読書に対する興味・関心を広げる取組の普及

しがはいすくーるおすすめ本50選について、さらなる活発化のためノウハウ本を作成。周知を図りたい。

- ・令和5年7月開催 首長会議

湖南市からの提案で、「こどもまんなか政策における『こども としょかん』の展開について」をテーマとして意見交換をした。昨年度から、市町の皆さんにも「こども としょかん」に関心を寄せていただいている。今後も、より深く理解いただき、連携して取組を進めてまいりたい。

○幼小中教育課より説明

- ・令和5年度読書活動推進事業では、米原市にて授業研究発表会を開催。
- ・子どもの読書優秀実践校（文部科学省）として、近江八幡市立岡山小学校、守山市立守山中

学校を推薦、表彰された。今年度、司書教諭等連絡協議会で実践紹介をしていただいた。

(2)「第5次滋賀県子ども読書活動推進計画」について

○事務局より説明 資料2-1～2-3、3参照

- ・2023年度末に策定。
- ・子どもの読書活動の推進に関する法律に基づく県の計画。
- ・【概要版】を説明 資料2-1参照
- ・指標について、資料3の⑤学校司書を配置している学校数の割合に関連して、今年度から新たに高島市で学校司書を配置されている等の動きがある

(3)令和6年度子ども読書活動推進事業について

○事務局より説明 別添資料4、6参照

- ・学校図書館サポーター養成講座
今年度新規開講。学校司書に必要な知識等を学んでいただき、学校司書となりうる人材を育成するための講座として実施。 資料6参照
- ・「すまいる・あくしょんフェスタ2024」への出展 資料4参照

○幼小中教育課より説明 資料7参照

- ・学校図書館連携推進事業
学校図書館担当教諭(司書教諭)、学校司書、公立図書館司書の連携を強めることを目的に協議会を開催。第1回は、5月9日、13日に開催。学校司書と、公立図書館司書、県内全ての小・中学校の学校図書館担当教諭が出席。

○「こども としょかん」サポートセンター(寺本所長)より説明 資料5参照

質問・意見

- | | |
|-----------|--|
| 二井委員 | <ul style="list-style-type: none">・資料3(指標の推移)について、県の調査と国の調査とでは調査対象に相違があるとのことだが、同条件にしたらどうなるか分かるか。・資料6【学校図書館サポーター養成講座】について、学校司書となる人材を育成するということは、司書資格を持っていない方でも、県としては採用していこうという考えか。個人的には、司書資格を持った方へのバックアップを県の方でしていただきたい。・「こども としょかん」サポートセンターの、県内市町立小・中学校訪問について詳しく知りたい。・参考資料の首長会議の概要についてだが、これに書かれていない意見もあり、あくまでも概要だと思ってほしい。テーマは「こども としょかん」の展開についてであり、資料2-1にも紙の本と電子書籍それぞれのよさを生かしながらとあるとおり、紙の本を大事にしながら、電子書籍を活用していけるとよい。 |
| 事務局
会長 | <ul style="list-style-type: none">・国の調査と同条件の数値を把握可能か等については、改めて確認したい。・学校司書そのものには、資格は必要ない。配置状況を把握するときに、任用にあたっての資格の条件の有無について、調査は行っているのか。 |
| 事務局
会長 | <ul style="list-style-type: none">・有資格者を条件にしているかどうかは把握していない。・司書教諭には資格が必要。学校司書には資格は不要。学校司書を目指す方や、現学校司書のための研修はあるが、何かの研修を受けたら学校司書になれるというものではない。市町としては、読書ボランティアとして経験を積んだ方を、学校司書として任用する場合はある。 |
| 二井委員 | <ul style="list-style-type: none">・現在、学校図書館におられる学校司書の方は、全く知識がなくても配置されている場合もあるのか。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none">・市町立小中学校の学校司書は、市町が採用している。資格を求めておられるかどうかは、市町により異なる。学校司書を募集しても応募がない場合もあるようなので、県としてできる支援として養成講座を開講した。 |
| 二井委員 | <ul style="list-style-type: none">・受講者が、履歴書に県の養成講座受講と書いたら、ある一定の知識を得られている |

- という認識になるように期待したい。
- 会長
- ・学校司書の調査について、資格を条件としているかも含めて調査していただきたい。
 - ・学校司書の配置について、市町ごとの配置状況なども示すと刺激になるのではないかな。
- 事務局
- ・調査内容については検討したい。
 - ・県としては、学校司書ゼロの学校をなくしていきたいということで、市町に働きかけをしている。
- 会長
- ・学校訪問について知りたいとのこと。
- 寺本こど
- ・これから訪問を開始するが、初年度ということで、まずは学校図書館の現状と課題を把握したい。訪問校は各市町教委に推薦していただいた。
- サボ所長
- ・参考資料の首長会議の資料についてもお発言があった。
- 会長
- ・この参考資料では、電子図書館を導入する方向性が出すぎていると懸念している。ここに記録されていない意見も出ていた。紙の本を大事にしたい。
- 二井委員
- ・昨年度もこの協議会の場で電子書籍について議論した。
- 会長
- ・紙の本を大切にすることということで、思いをひとつにした。電子書籍は便利。ただ、読書体験は、人の原風景的なものであると思っている。紙に触れた時間、めくったり、匂いだったり、そのものにまつわる時間とか空間とか、色々な体験を含めた読書活動だと考えていた。
- 橘委員
- ・詳しくは議事概要で確認いただきたい。
- 会長
- ・要望だが、資料1の「えほんいっぱい たのしさいっぱい」の冊子が、来年度からネットに誘導されると聞きすごく寂しい。紙というか、形のあるものを残してほしい。
- 草間委員
- ・学校司書について、私も栗東市で学校ボランティアをしている。栗東市では、現在、小中学校 12 校を2名の学校司書で担当しているとのこと。ゼロから週1～2日になって嬉しいが、「滋賀まるごと『こども としょかん』」というなら、小中学校での学校司書の存在が大きい。もっと長時間配置されると良いと思う。
- 会長
- ・子どもの読書活動を支えていく上で、学校司書の存在は大きい。表彰を受けた（近江八幡市立）岡山小学校では、学校司書の努力により学校図書館が活性化された。
 - ・市町教委に、学校司書の配置について、さらに呼び掛けてほしい。
- 橘委員
- ・学校図書館サポーター養成講座受講者が学校司書として仕事していただくということは、有償なのか、ボランティアとしてなのか。どちらの状況を想定しているのか。
- 事務局
- ・当講座は、学校司書となりうる人材の養成を目的としている。ボランティアではなく、仕事として学校司書をしていただくための、基礎知識を得ていただくもの。採用は市町である。受講生には修了証を発行する。受講生の手承があれば、地域にこのような人材がおられるという情報を市町と共有することも考えている。
- 橘委員
- ・最後のハードルは、各市町が学校司書に予算をつけるかどうかということか。
- 事務局
- ・採用は市町である。
- 会長
- ・橘委員は受講生とのことだが、養成講座の感想は？
- 橘委員
- ・2年前に社会教育士の資格を取った際に、学校図書館関係について学んだので、養成講座の第1回の内容はすでに知っていることもあった。今回初めて学校図書館や学校司書について学ぶという方にとっては、学校図書館に求められていること等、大変分かりやすかったと思う。
 - ・これまで学校や学校図書館に関わったことのない受講生もおられ、様々な背景の方がおられると感じた。
- 会長
- ・草間委員の意見である、冊子「えほんいっぱい たのしさいっぱい」についてはいかがか。
- 事務局
- ・課としては継続していきたい思いがあるが、全庁的にデジタル化の方向。委員からのご意見にもあるように、小さいころからの紙での経験が大事と私どもも認識している。
 - ・様々な事業により、実際にお子さんに絵本に触れていただく機会を設けたいと考え

	ている。 ・今後、いわゆるデジタルネイティブのお子さんが増えていく。デジタル化を見据えていく必要はある。
草間委員	・やはり、「えほんいっぱい」のしさいっぱい」は、子どもと保護者が初めて出会うもの。道しるべだと思える。一番初めは何でも大事。お話し会等、機会を設けていただいているのはありがたいが、日常にある紙を大事にしていきたいと思う。
会長	・今までは、保護者が見ると勝手に解釈していたが、子どもと一緒に見る、子どもも見るというところにも価値があると感じた。
二井委員	・平成14年度発行時に携わっていた。思い入れも強い。 ・こちらの図書館ではこの冊子を活用し、冊子に載っている本を借りたい人が貸出中で借りられないといったことがないように、冊子に掲載されている本は複本を多めに用意するなどしている。 ・冊子の電子データを、各自治体で印刷し冊子にすることは可能か。
橘委員	・そもそも、冊子を作らずにチラシを作るということか。冊子とチラシの版が違うので、初期コストが変わる。各自治体は、冊子を刷りたいということか。
事務局	・印刷の発注先に版はある。ホームページにPDFのデータを掲載。各市町で印刷して配付は可能と考えるが、それを強いることはできない。各市町がブックファーストの取組時に活用されること等が想定される。
会長	・書影の使用確認は、県か市かどちらがするのか。
事務局	・毎年、県がしている。新たに市が確認する必要はない。
二井委員	・ホームページに掲載する場合は、著作権と公衆送信権の許可もとる必要がある。
事務局	・改めて確認する。
鹿取委員	・「こども としょかん」サポートセンターを設立されて、主に小学校の学校図書館の支援というのを重点的にされるとのことだが、幼稚園・保育園の支援も必要。小学校入学時点で、すでに読む子と読まない子に傾向が分かれている。検討してほしい。
会長	・生涯学習課で、「やってみませんか？『おうちで読書』ブース出展のススメ」を3年くらい前から重点的にしてこられたが、それを継続的に進めていく計画はあるか。
事務局	・県の備品である、のぼり旗、面展台等、各市町や団体に貸し出しをして、それぞれの地域で取り組んでいただく支援をしている。
寺本こどサポ所長	・当センターの3つの事業の柱にもあるが、子ども読書支援について研究を進めている。未就学児の読書支援は非常に重要だと考えている。各市町の取組状況を確認しながら、取り組みたい。
会長	・欠席の上田委員からの意見等① 2/7開催「子ども読書ボランティア研修会」ではオンライン視聴が可能だった。会場まで行けない参加者のため、学校で視聴できるように会場を作ったのは非常に有効だった。このように、オンライン視聴会場を学校に作り研修することは可能か。
寺本こどサポ所長	・今年度より、「子ども読書ボランティア研修会」は、「こども としょかん」サポートセンター主催となった。オンライン視聴可能かどうか、今後検討する。
会長	・欠席の上田委員からの意見等② 学校図書館サポーター養成講座について、ボランティア仲間も興味を持っている。参加しやすいよう、オンデマンドの対象を増やすことは可能か。
事務局	・元々、この講座は基本的に全7回ご出席いただくこと条件としている。学校図書館司書は専門性の高い仕事であり、そのための知識を身に付けていただくことが目的。ご欠席の場合、日程によっては講座のオンデマンド配信を視聴することで出席代替と考えている。いただいた意見は、今度の参考にしたい。
会長	・欠席の上田委員からの意見等③ 今後、ボランティアとしては「こども としょかん」サポートセンターにどのように関われるか。
寺本こどサポ所長	・児童関連施設、児童養護施設等で、読書ボランティアを求められている。高齢化でボランティアが不足している。『こども としょかん』ポータルサイト」にて、情報を掲載していきたい。

- 堀出委員
（子育て
支援課
長）
- ・就学前の子どもたちへの読書支援を、今後の課題としてサポートをお願いしたい。
- 会長
- ・子ども読書活動に関するイベントについて、情報がいろいろなところに掲載されているが、子ども読書活動に関するイベントカレンダーのようなものを決まったホームページに掲載されるとよい。市町の図書館からも情報提供してもらい、一覧になると非常に便利。
 - ・幼小中教育課で新たに始められた学校図書館連携推進事業と、今までの司書教諭等連絡協議会とはどう違うのか。学校の先生にとって負担感が増すだけということのないよう、学校図書館が大事だとなるように、事業の整理・検討をお願いしたい。

3 閉会

小野田会長挨拶

- ・本日のお礼

上井主幹閉会挨拶

- ・協議会委員の協力を得ながら、子ども読書活動の一層の展開を図っていききたい。
- ・第2回協議会は、2月から3月頃に開催予定。